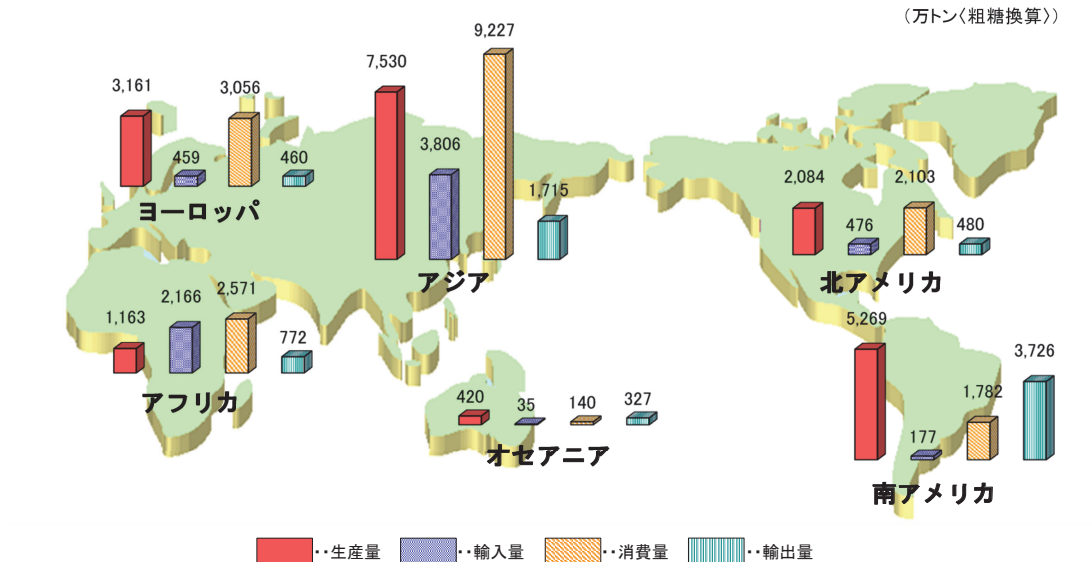




1 世界の砂糖需給（2026年6月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2025/26年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, June 2026」を基に農畜産業振興機構作成

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

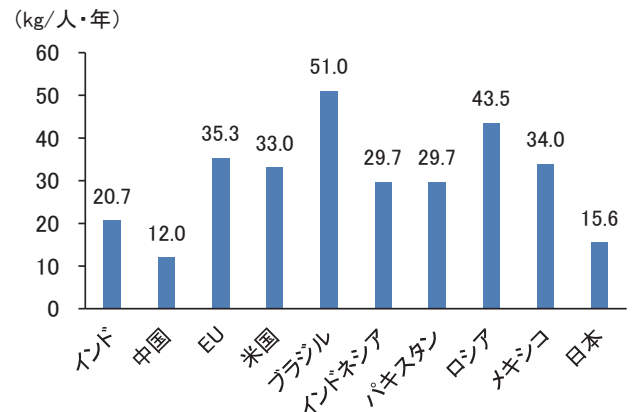
GlobalData UK Ltd.による2026年6月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2025/26砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9627万トン（粗糖換算〈以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算〉、前年度比3.6%増）とやや増加が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルは減産が見込まれている一方、同第2位のインドおよび同第5位のタイなどでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億8879万トン（同0.7%減）とわずかな減少が見込まれている。消費量第1位のインド、同第2位の中国および同第3位のEUは前年度並みが見込まれているが、同第4位の米国および同第5位のブラジルは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から2.3ポイント

増加し、46.2%と見込まれている。地域別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, June 2026」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：EUには、英国を含む。

注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：万トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1995/96	5,221	12,220	3,403	11,628	3,691	5,526	47.5
2000/01	7,099	13,143	3,845	13,089	4,148	6,850	52.3
2005/06	6,599	15,129	4,763	15,015	5,042	6,434	42.9
2010/11	6,056	16,721	5,441	16,544	5,868	5,808	35.1
2015/16	8,241	17,519	6,902	17,931	6,936	7,795	43.5
2020/21	8,914	18,204	6,749	18,604	6,814	8,449	45.4
2021/22	8,449	18,639	7,004	18,927	7,123	8,043	42.5
2022/23	8,043	19,070	7,151	19,100	7,161	8,002	41.9
2023/24	8,002	19,566	7,662	19,049	7,700	8,480	44.5
2024/25	8,480	18,942	7,303	19,004	7,385	8,336	43.9
2025/26 (2026年6月予測)	8,336	19,627	7,119	18,879	7,480	8,723	46.2

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2026」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

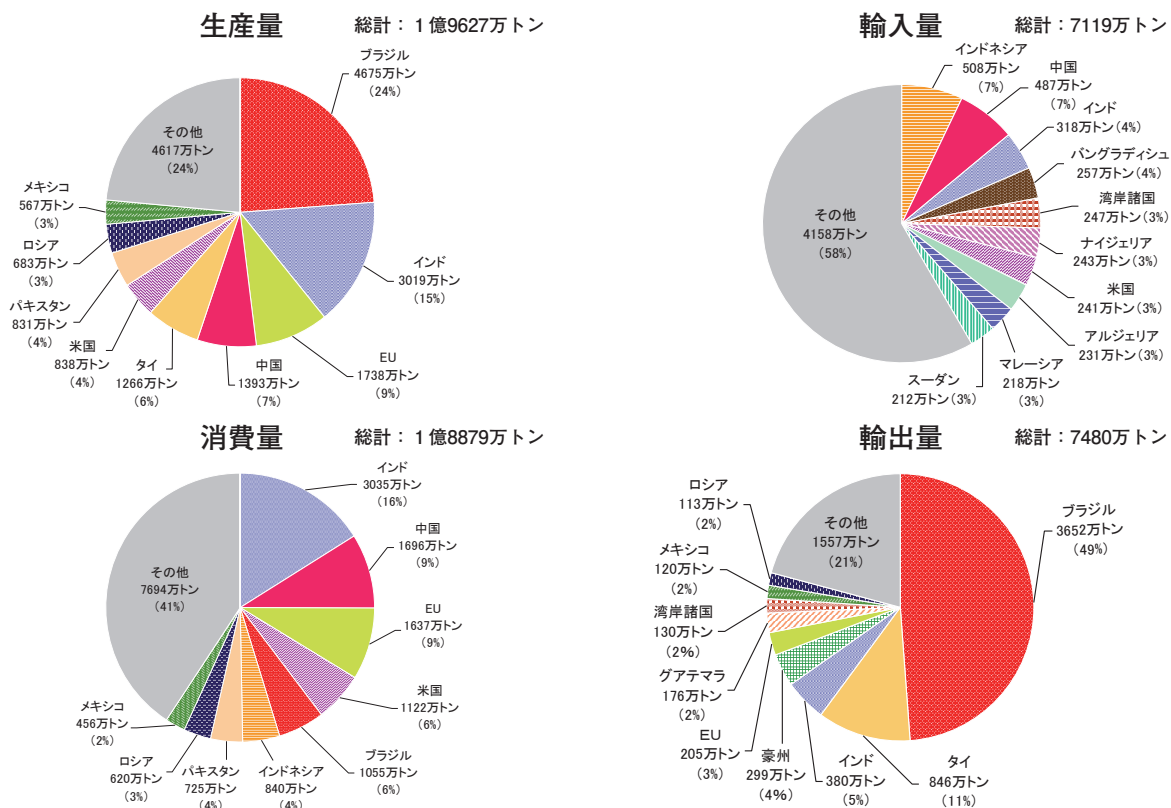
注2：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2026年6月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2025/26年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2026」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

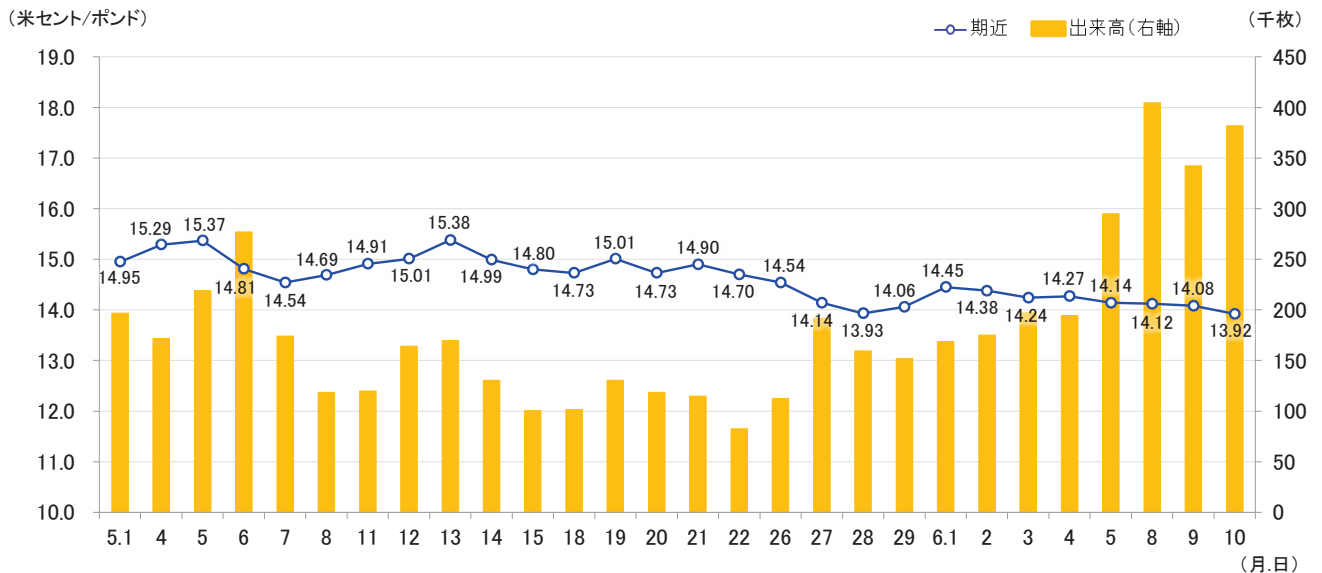
注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（5/1～6/10）

～5月は原油安とタイの砂糖輸出増加などが相場を圧迫～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近7月限の値。

2026年5月のニューヨーク粗糖先物相場（7月^{がつ}限）の推移を見ると、1日は原油高（注1）と世界的な砂糖減産見通しにより、1ポンド当たり同14.95セント（注2）と前取引日から上昇した。4日以降は原油高とリアル高（注3）によりさらに値を上げ、5日は同15.37セントをつけた。6日以降はブラジルの増産見通しやエタノール価格の低迷により下落したが、8日以降はリアル高と世界的な砂糖減産見通しから上昇し、13日は同15.38セントとなった。14日以降はドル高により下落に転じ、18日は同14.73セントとなった。19日はブラジルの減産見通しにより上昇したものの、20日以降は原油安とタイの砂糖輸出増加により下落傾向となり、さらに、27日のブラジルの砂糖生産拡大を受けて、28日は同13.93セントまで値を下げた。29日はエルニーニョ現象によるインドのサトウキビ不作見通しから、同14.06セントと上昇した。

6月に入ると、1日は引き続きインドのサトウキビ不作見通しから上昇したが、2日以降は原油安とリアル安などにより下落傾向となり、10日は同13.92セントとなった。

（注1）一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2026年6月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】	【砂糖（甘しや糖）】
収穫面積：918万ha（前年度比1.1%増）	生産量：4630万トン（同1.0%減）
生産量：6億9970万トン（同4.9%増）	輸出量：3575万トン（同2.1%減）

26/27年度の砂糖輸出量はわずかな減少見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、918万ヘクタール（前年度比1.1%増）と前年度からわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、年初からの十分な降雨で単収の増加が予測されることから、6億9970万トン（同4.9%増）とやや増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産が予測されるものの、砂糖仕向け割合の低下により、4630万トン（同1.0%減）とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、3575万トン（同2.1%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

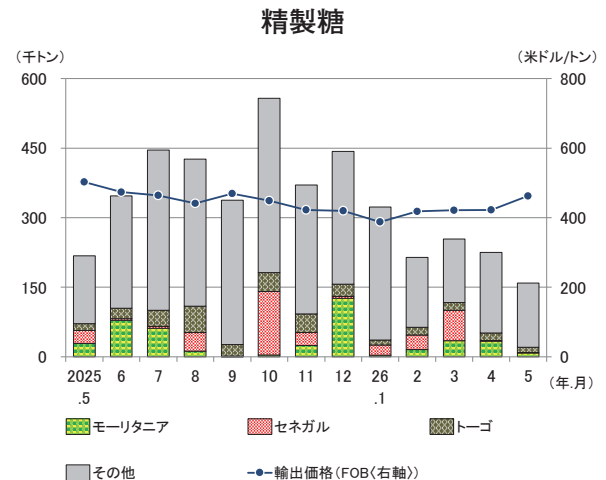
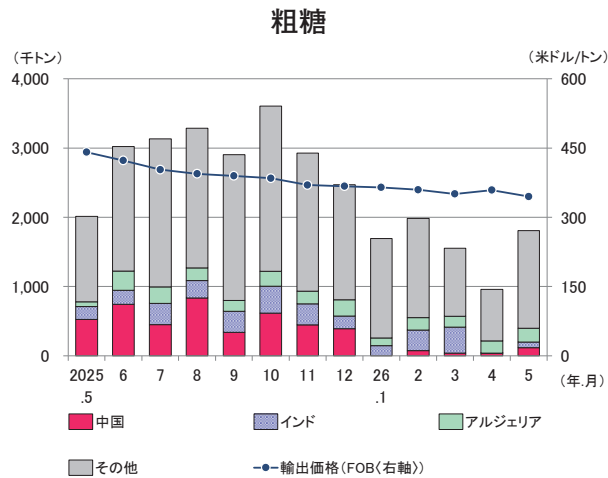
年度		2023/24	24/25	25/26	26/27 （5月予測）	26/27 （6月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		841	884	908	917	918	1.1
サトウキビ生産量		71,313	67,868	66,675	69,060	69,970	4.9
砂糖	生産量	4,932	4,719	4,675	4,670	4,630	▲ 1.0
	輸入量	0.5	0.4	0.3	0.5	0.4	21.7
	消費量	1,096	1,075	1,055	1,055	1,055	0.0
	輸出量	3,739	3,618	3,652	3,615	3,575	▲ 2.1
	期末在庫量	320	347	315	313	316	0.1
期末在庫率		6.6	7.4	6.7	6.7	6.8	0.1ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：526万ha（前年度比0.3%増）

生産量：4億938万トン（同5.0%増）

【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：3019万トン（7.3%増）

輸出量：380万トン（同6.5%減）

25/26年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、526万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、1）25年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2）マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的なものではないことと推測されるため、4億938万トン（同5.0%増）とやや増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、主要生産州であるマハラシュトラ州、ウッタル・プラデーシュ州およびカルナータカ州でのサトウキビ増産と歩留まり（糖回収率）の上昇により、3019万トン（同7.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、同国政

府が26年5月13日に同年9月30日までの砂糖輸出の原則禁止を公表したこと^(注)などから、380万トン（同6.5%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

(注) 2026年5月13日に公表された情報によれば、同国政府は、今回の砂糖輸出政策の改正により、これまで輸出を制限していた砂糖（ITCコード（HSコード）1701.14-90および1701.99-90に該当する砂糖）の輸出を直ちに禁止した。適用期間は26年9月30日まで、または別途通知があるまでのいずれか早い時期までとなる。ただし、この禁止措置は、1）EU向けの割当枠（CXL）および関税割当（TRQ）の割当枠に基づくEUおよび米国向け、2）事前認可制度（AAS）、3）政府間輸出、4）すでに物理的な輸出プロセスが進行中の貨物—の条件の下で輸出される砂糖には適用されないとしている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度	2022/23	23/24	24/25	25/26 (5月予測)	25/26 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	544	554	524	526	526	0.3
サトウキビ生産量	45,590	44,371	38,985	40,938	40,938	5.0
砂糖	生産量	3,539	3,468	2,813	3,019	7.3
	輸入量	169	313	280	322	13.5
	消費量	3,008	3,109	3,029	3,035	0.2
	輸出量	865	438	407	371	▲ 6.5
	期末在庫量	629	862	519	454	▲ 15.0
	期末在庫率	16.2	24.3	15.1	13.3	2.2ポイント減

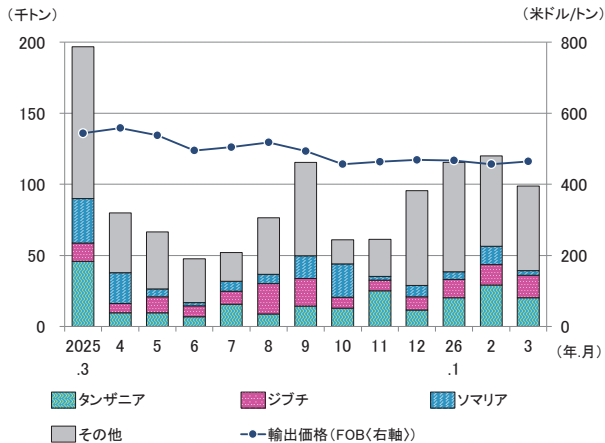
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖

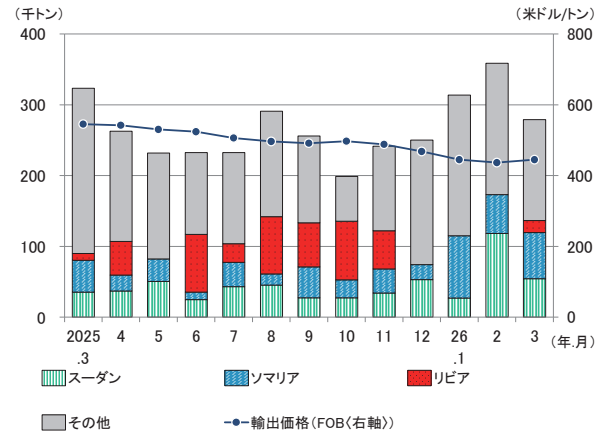


資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

精製糖



中国

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：121万ha（前年度比1.3%増）

生産量：9029万トン（同22.8%増）

【てん菜】

収穫面積：23万ha（同7.8%増）

生産量：1266万トン（同5.9%減）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1393万トン（同15.4%増）

輸入量：487万トン（同24.7%減）

25/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、競合作物より収益性が高いことから生産者が作付けを増加させたことで、121万ヘクタール（前年度比1.3%増）とわずかな増加が見込まれ

ている（表）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省では収穫開始が遅れたが、生育が良好であるため、9029万トン（同22.8%増）と大幅な増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、競合作物の需要低下で生産者

がてん菜の作付けを増加させたことから、23万ヘクタール（同7.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一方、てん菜生産量は、単収の減少により1266万トン（同5.9%減）とやや減少すると見込まれている。また、米国農務省の報告によれば、25年後半の悪天候がてん菜の生育に影響を及ぼし、糖度の低下を招いたとしている。

砂糖生産量は、てん菜の減産以上にサトウキビの増産が見込まれているため、1393万トン（同15.4%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の増加見通しから、487万トン（同24.7%減）と大幅な減少が見込まれている。

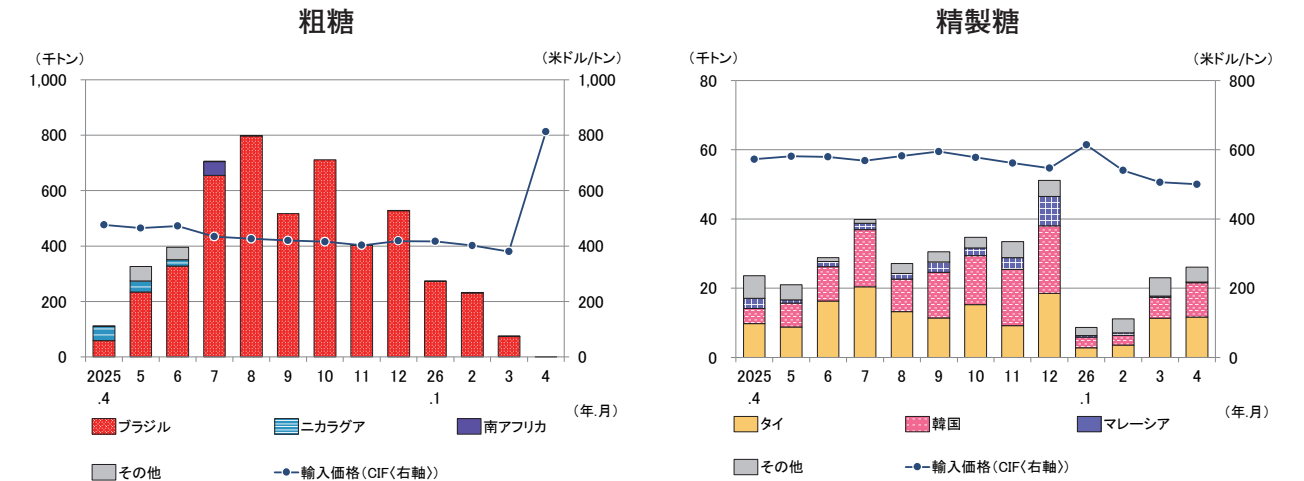
表 中国の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度		2022/23	23/24	24/25	25/26 (5月予測)	25/26 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		110	110	119	121	121	1.3
サトウキビ生産量		6,260	7,313	7,354	8,998	9,029	22.8
てん菜収穫面積		18	17	22	23	23	7.8
てん菜生産量		872	938	1,346	1,266	1,266	▲ 5.9
砂糖	生産量	970	1,077	1,207	1,374	1,393	15.4
	輸入量	585	740	647	431	487	▲ 24.7
	消費量	1,658	1,674	1,692	1,696	1,696	0.2
	輸出量	20	18	17	15	15	▲ 12.1
	期末在庫量	1,419	1,545	1,689	1,784	1,858	10.0
	期末在庫率	84.6	91.3	98.8	104.3	108.6	9.8ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」
注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。
注3：26年4月の粗糖輸入量は、千トン未満。

E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：140万ha（前年度比10.7%減）

生産量：1億1375万トン（同2.4%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1738万トン（同1.2%増）

輸入量：164万トン（同9.2%増）

25/26年度の砂糖期末在庫量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に主要生産国での減少が見込まれることから、140万ヘクタール（前年度比10.7%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスやドイツで単収の増加を見込んでいるものの、作付面積の減少により、1億1375万トン（同2.4%減）とわずかな減少が見込まれている。また、3月以降、EUおよび英国における26/

27年度のてん菜の作付けが開始され、5月中旬にはほぼ完了したとの報道もある中、これまでの暖冬に加え、現在の温暖かつ乾燥した気候により、病害虫への懸念が高まっている。

砂糖生産量は、24/25年度と比較しててん菜の糖度が上昇したことで、1738万トン（同1.2%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、164万トン（同9.2%増）とかなりの程度増加が見込まれることに加え、EU市場は供給過多の状況が続いていることから、期末在庫は277万トン（同27.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

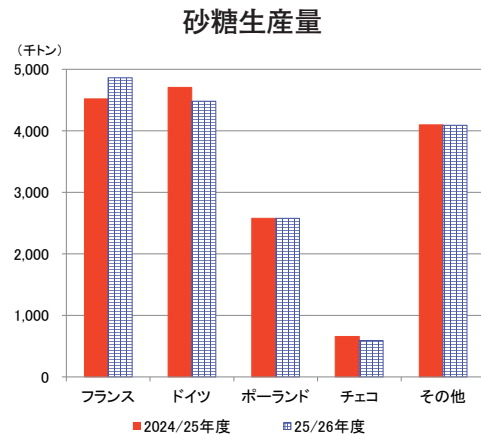
年度		2022/23	23/24	24/25	25/26 (5月予測)	25/26 (6月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積		140	145	157	140	140	▲ 10.7
てん菜生産量		9,976	10,990	11,650	11,375	11,375	▲ 2.4
砂糖	生産量	1,548	1,626	1,717	1,742	1,738	1.2
	輸入量	329	220	150	150	164	9.2
	消費量	1,727	1,633	1,637	1,652	1,637	0.0
	輸出量	90	209	209	202	205	▲ 1.7
	期末在庫量	191	196	217	255	277	27.5
	期末在庫率	10.5	10.6	11.7	13.8	15.0	3.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」

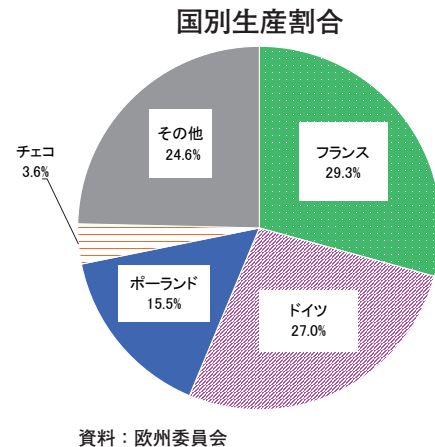
注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2025/26年度) (2026年4月時点)



資料：欧州委員会
注1：精製糖換算。
注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向 (2026年6月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：33万ha（前年度比2.1%減）
生産量：3000万トン（同3.9%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：406万トン（同3.7%増）
輸出量：309万トン（同3.2%増）

26/27年度の砂糖輸出量はやや増加見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、33万ヘクタール（前年度比2.1%減）とわずかな減少が見込まれているが、サトウキビ生産量は、3000万トン（同3.9%増）とやや増加が見込まれている（表）。米国農務省の報告によれば、25/26年度の収穫が遅延することなく完了し、26/27年度は十分な生育期間を確保できる点が生産量の増加見込みに寄与としている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産により、406万トン（同3.7%増）とやや増加が見込まれているが、ディーゼル燃料の高騰がサトウキビの収穫や製糖工場への搬入にかかるコストを増加させるとの指摘もある。砂糖輸出量は、砂糖の増産に加え、アジア地域を中心に引き続き堅調な需要が見込まれることから、309万トン（同3.2%増）とやや増加が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度	2023/24	24/25	25/26	26/27 (5月予測)	26/27 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	34	32	34	33	33	▲ 2.1
サトウキビ生産量	2,986	2,880	2,887	2,934	3,000	3.9
砂糖	生産量	413	391	398	406	3.7
	輸入量	1.0	1.4	1.1	1.0	70.3
	消費量	97	98	98	98	0.5
	輸出量	370	290	300	309	3.2
	期末在庫量	45	50	50	45	0.1
	期末在庫率	9.6	12.8	11.3	11.0	0.3ポイント減

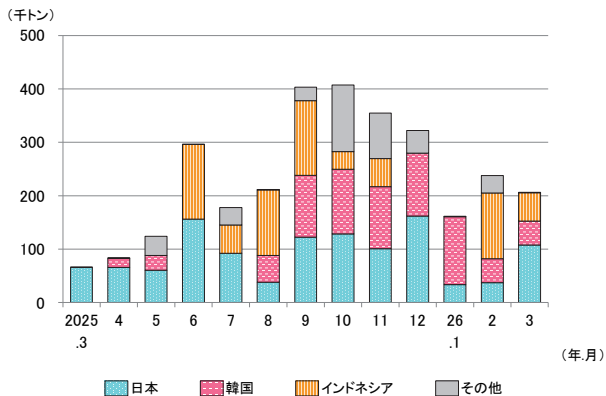
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

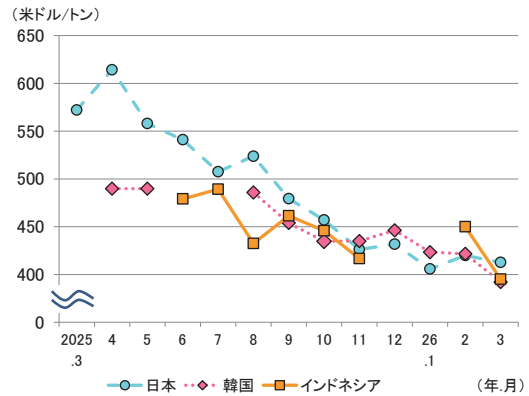
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖(粗糖)の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)の数値。

注2：直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年3月、6月、7月の輸入量は実績なし。

注5：インドネシアの25年3月、4月、5月、12月、26年1月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度(10月～翌9月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha(前年度比2.2%増)
生産量：1億586万トン(同15.0%増)

【砂糖(甘しゃ糖)】

生産量：1265万トン(同19.7%増)
輸出量：846万トン(同24.4%増)

25/26年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度(10月～翌9月)のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール(前年度比2.2%増)とわずかな増加が見込まれている(表)。サトウキビ

生産量は、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に働くことで、1億586万トン(同15.0%増)とかなり大きな増加が見込まれている。26/27年度に向けては、サトウキビの生産コスト上昇および砂糖相場

低迷が見込まれる中、競合作物であり、一般的に粗放的栽培管理が可能で、サトウキビよりも収益性が高いキャッサバへの転作が進むとの見方もある。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS^(注)の上昇により、1265万トン（同19.7%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を

背景に846万トン（同24.4%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

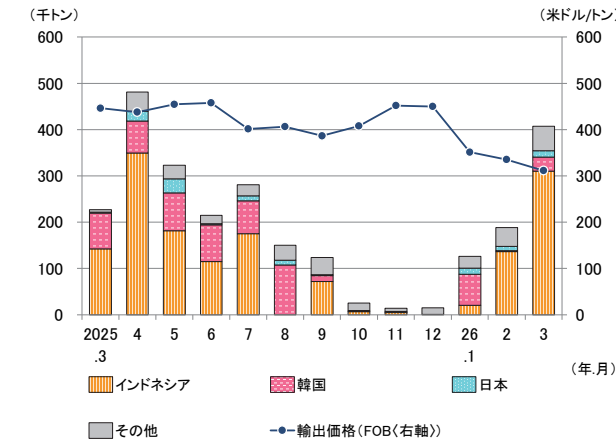
表 タイの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

年度		2022/23	23/24	24/25	25/26 (5月予測)	25/26 (6月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		151	148	154	157	157	2.2
サトウキビ生産量		9,389	8,217	9,204	10,600	10,586	15.0
砂糖	生産量	1,169	932	1,058	1,266	1,265	19.7
	輸入量	28	25	36	3	3	▲ 91.6
	消費量	335	329	333	335	335	0.6
	輸出量	800	589	680	846	846	24.4
	期末在庫量	256	295	375	464	463	23.4
	期末在庫率	22.6	32.1	37.1	39.3	39.2	2.2ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, June 2026」
注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移
粗糖



資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

精製糖

